

## ■取材後記

社長自身が平成 12 年度の試行事業に評価者として参画したということで、第三者評価制度に関する造詣も深く、改善に向けての気づきを得る機会として、今後も継続的に受審していく考えを持っています。その一方で、公表されている評価結果を見ると、事業所間で評点にほとんど差がなく、妥当性に疑問を感じるとの感想も漏らしており、第三者評価に対する事業所側の問題意識を垣間見る機会となりました。